

科目名	環境工学（１）	科目コード 51560
-----	---------	----------------

学科名・学年	環境都市工学科 5 学年 (プログラム 2 学年)	担当教官	佐藤 和秀 (環境)		
単位数	1 単位・必履修	開講期間	前期	時間数	30 時間
			内訳(時間)	講義(24), 演習( 0) 実験( 0), その他(6)	
教科書					
補助教材	講義ノートの配布と板書、プロジェクター、ビデオ。				
参考書					

A 科目の概要	
<p>たかだか 200 年の人間活動が、地球システムに大きな影響を及ぼしつつあることが近年わかってきた。いわゆる地球環境問題で、人間を含む生物圏はこれらを解決なくしては、生存も危うくなってきた。その問題解決のため、地球環境問題を正しく理解し、考え行動していく基本を学ぶ。また、身近な雪国で、より良く生活していくために、雪氷圏の環境をより深く理解する。</p>	
B 到達目標	
<p>個々の地球環境問題の内容を理解する。 地球環境問題の因果関係を理解する。 身近な環境問題と地球環境問題の関係を考え、解決への道を考える。 雪国の置かれている環境を理解し、よりよい雪国のあり方を考える。</p>	
C 長岡高専の学習・教育目標との対応	(D)
D 履修上の注意	
板書、プロジェクター、講義中の話やビデオの内容などもノートすること。	
E 評価方法	
<p>個々の地球環境問題の内容についての設問により理解度を評価する。(30%) 地球環境問題の因果関係についての設問により理解度を評価する。(30%) 身近な環境問題と地球環境問題の関係を考え、解決への道についての設問により理解度を評価する。(20%) 雪国の置かれている環境を理解し、よりよい雪国のあり方についての設問により理解度と提案主張力を評価する。(20%)。</p> <p>授業内試験【60%】、課題レポート【20%】、授業に取り組む態度(質疑応答、居眠り等)【20%】 の割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60 点以上を合格点とする。</p>	

F 授業計画・内容		
週	内 容	備 考
1	はじめに	
2	地球環境問題とは何か	
3	地球温暖化（1）	
4	地球温暖化（2）	
5	オゾンホール	
6	酸性雨（1）	
7	酸性雨（2）	
8	（中間試験）	
9	海洋汚染	
10	砂漠化	
11	その他の環境問題	
12	雪氷圏の環境	
13	雪氷現象と文化	
14	（期末試験）	
15	試験問題の解説と学習目標達成度の自己点検	
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		